佐賀市

令和６年度

男女共同参画に関する市民意識調査

概要版

調査概要

この調査は、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、人権、性的マイノリティ等に関する日常生活の実態や住民の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の取り組みに向けた基礎資料とするために行いました。

●調査対象
佐賀市にお住いの
16歳から74歳までの男女2,300人
（等間隔無作為抽出法により抽出）

●調査期間
令和6年10月28日（月）～11月25日（月）

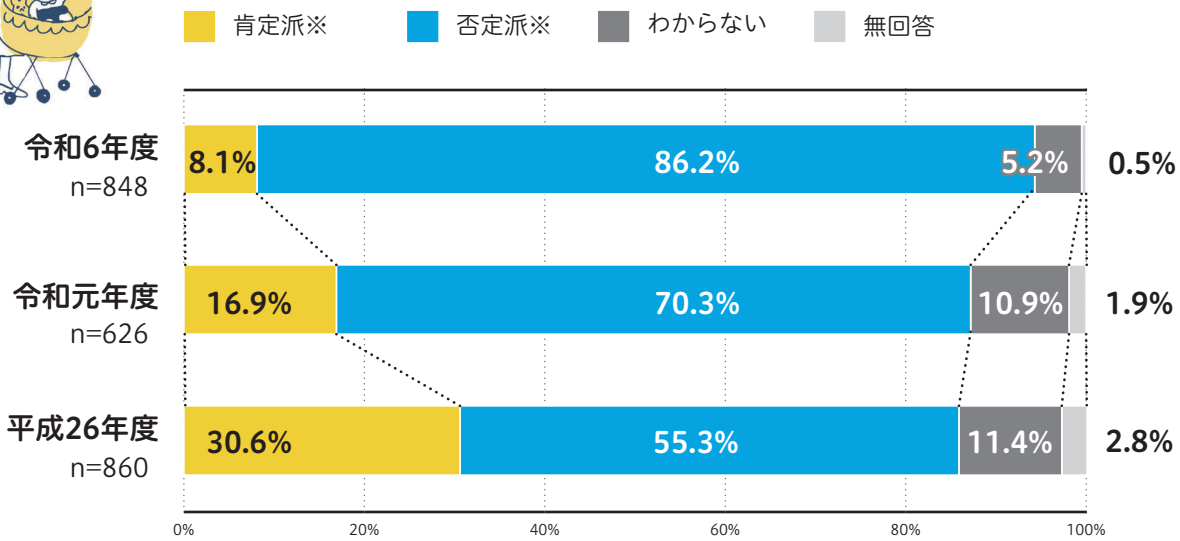
●調査方法
郵送配布、郵送またはインターネット回答

●有効回収数
848件（回収率36.8％）

男女共同参画について

性別役割分担意識（夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ）

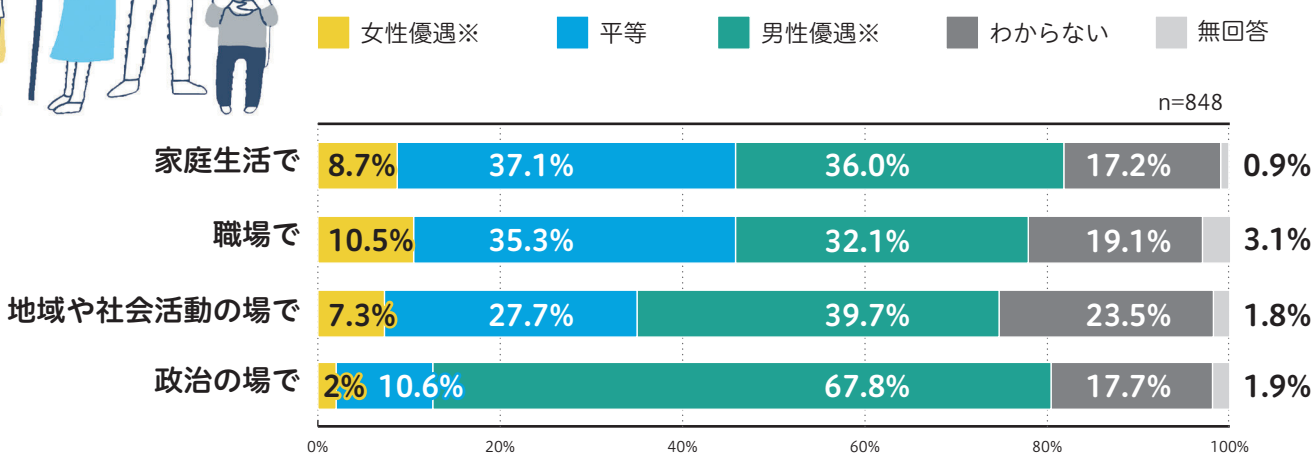
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」の『否定派』は86.2％。令和元年度調査よりも、性別役割分担意識に否定的な考え方が増えている。



※『肯定派』は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計、『否定派』は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計。

男女の地位の平等感

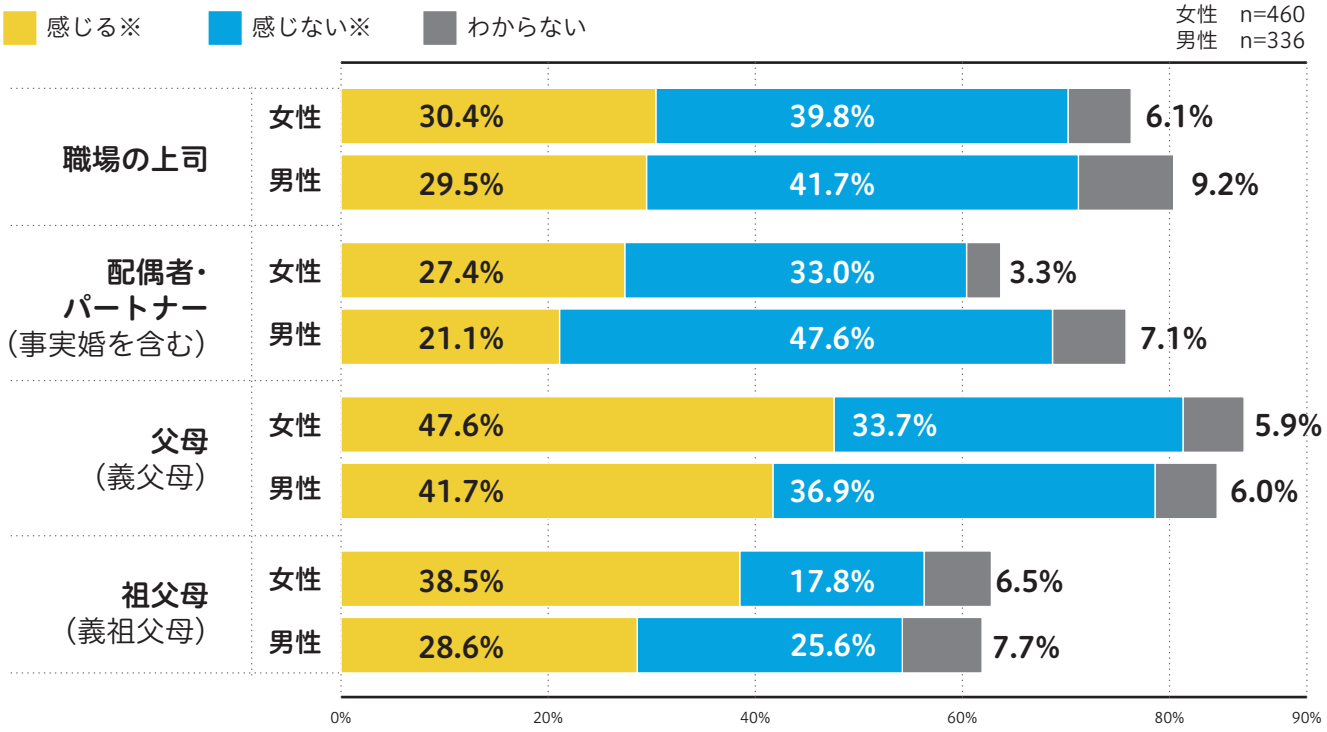
『男性優遇』との回答は「政治の場で」が過半数を超え、「地域や社会活動の場で」「家庭生活で」「職場で」が３割となっている。



※『女性優遇』は「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計、『男性優遇』は「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計。

身近な人に性別役割分担意識を感じるか

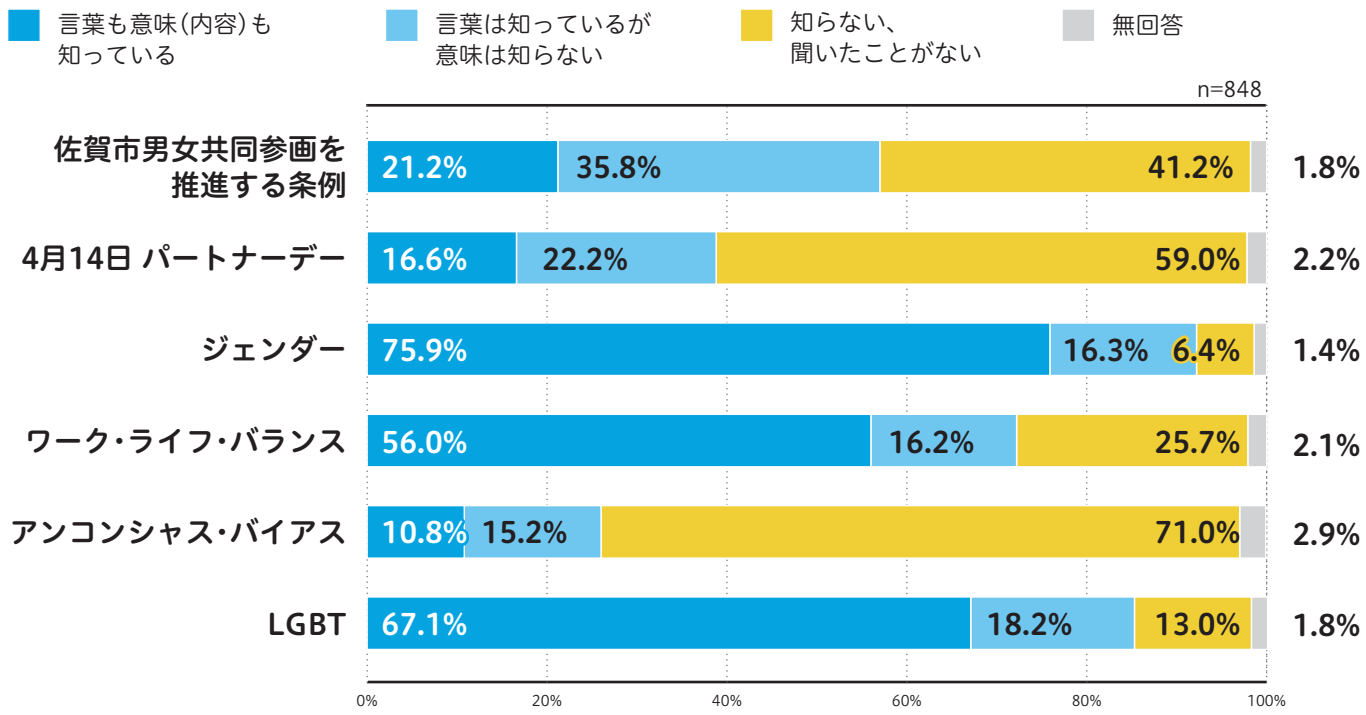
男女共に「父母（義父母）」に『感じる』割合が4割となっている。また、身近な人に性別役割分担を感じる人は「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てたほうがよい」の『肯定派』の割合が高い傾向にある。



※『感じる』は「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計、『感じない』は「感じない」「どちらかといえば感じない」の合計。
※選択肢の「対象者がいない」「無回答」は除外している。

男女共同参画に関する用語の認知度

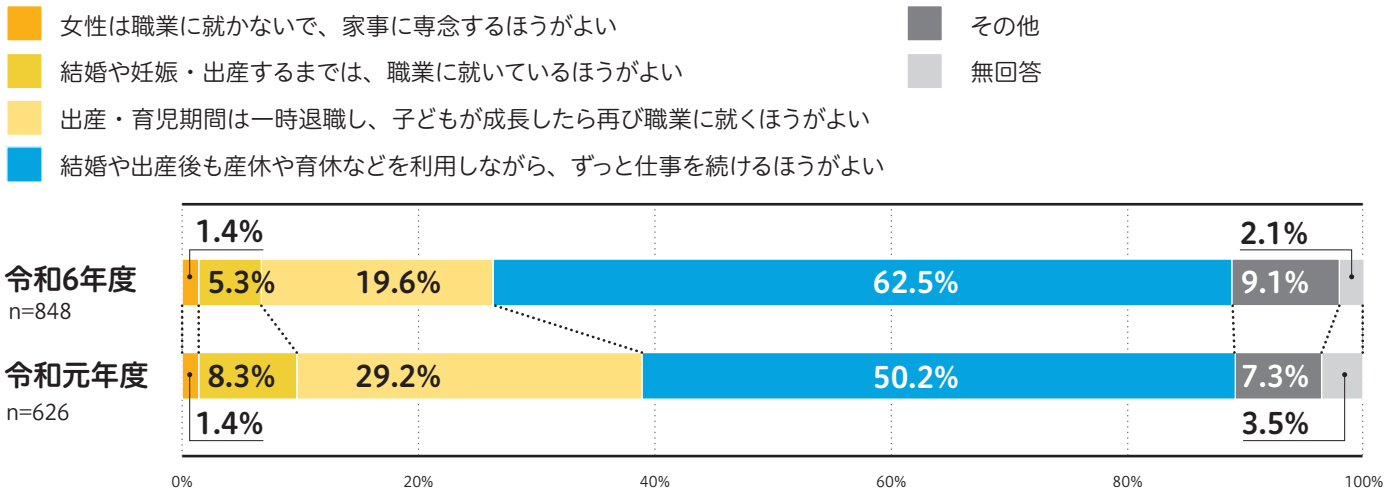
『認知度』（「言葉も意味も知っている」「言葉は知っているが意味は知らない」は、「ジェンダー」が最も高く92.2%、「LGBT」が85.3%、「ワーク・ライフ・バランス」が72.2%となっている。



就業について

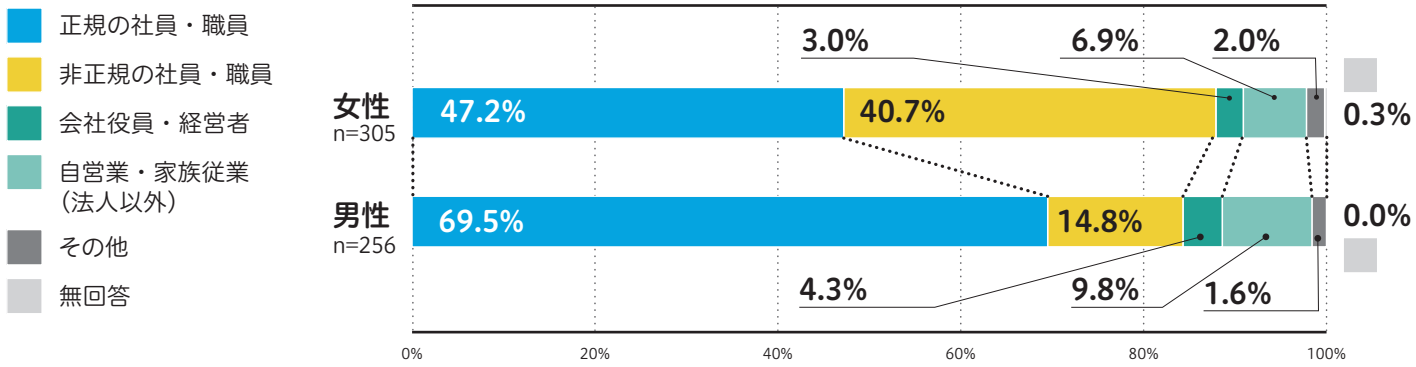
「女性が職業をもつこと」に対する考え方

「結婚や出産後も産休や育休などを利用しながら、ずっと仕事を続けるほうがよい」が令和元年度よりも増え、6割を超えている。女性の社会進出に積極的な考え方が増えている。



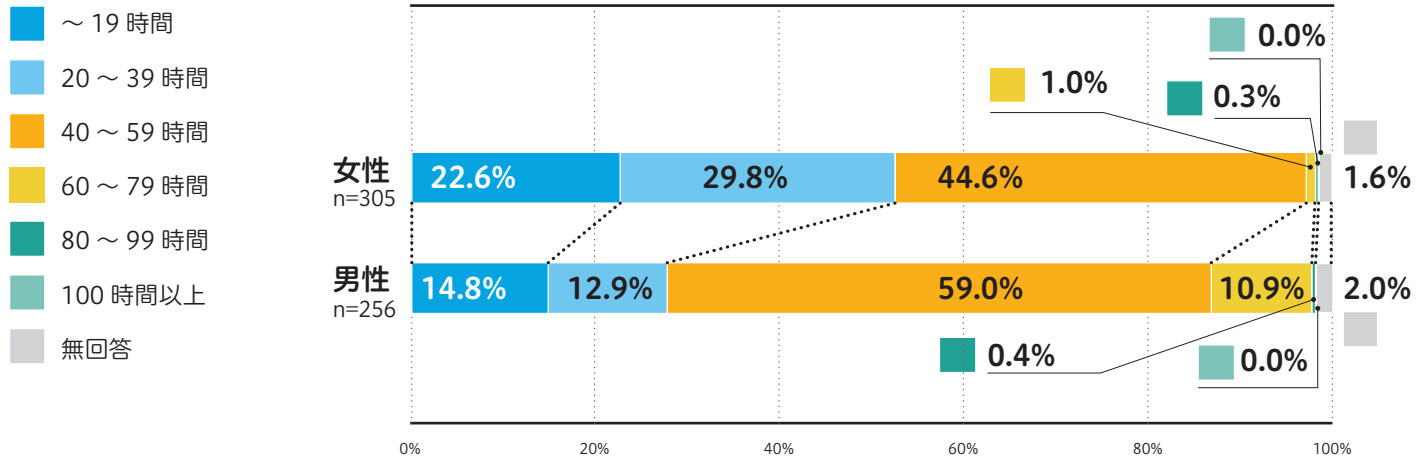
雇用形態

『正規の社員・職員』は男性のほうが高く、『非正規の社員・職員』は女性のほうが高い。



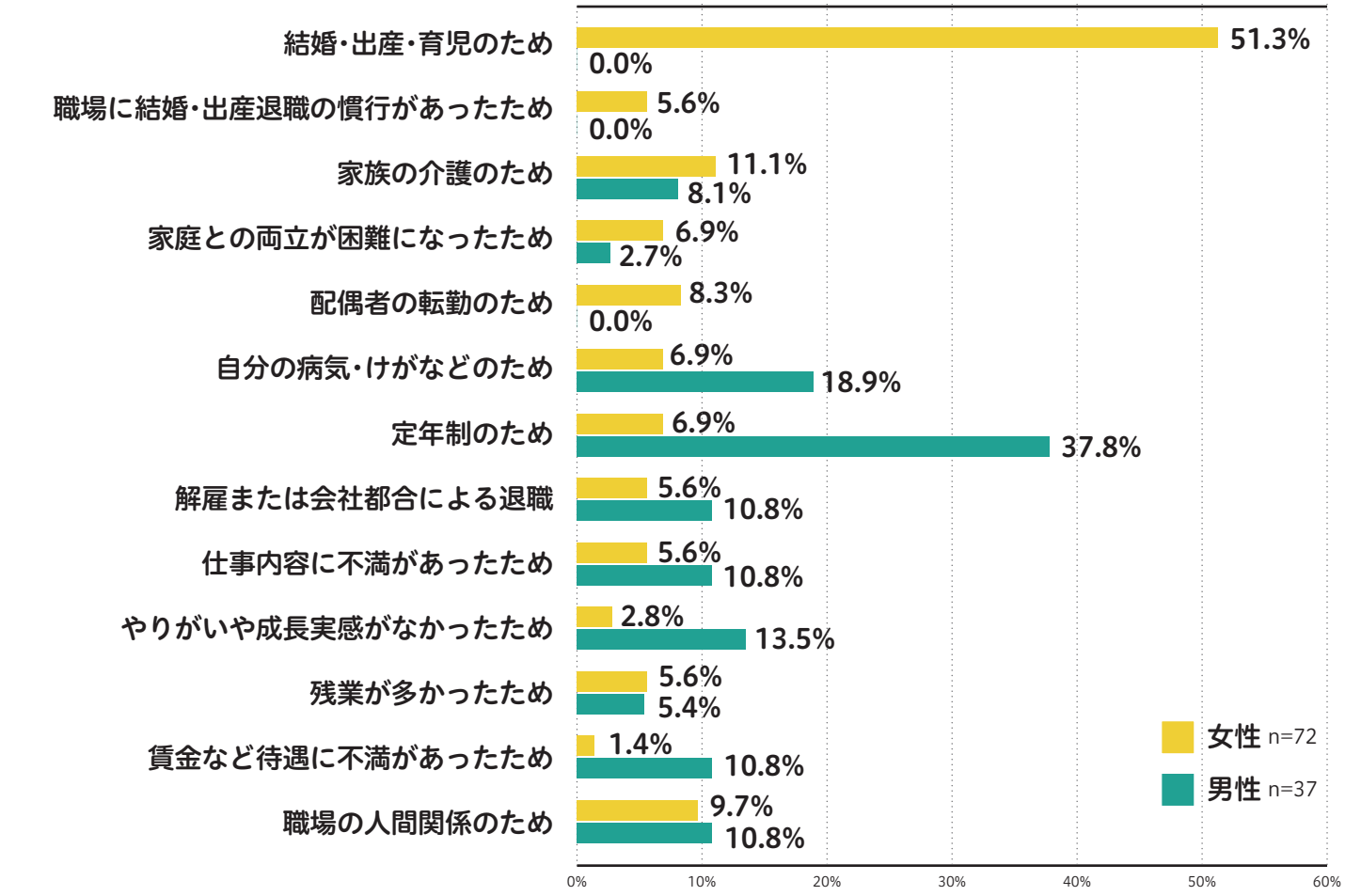
1 週間あたりの就労時間

『39時間未満』は女性のほうが高く、『40時間以上』は男性のほうが高い。



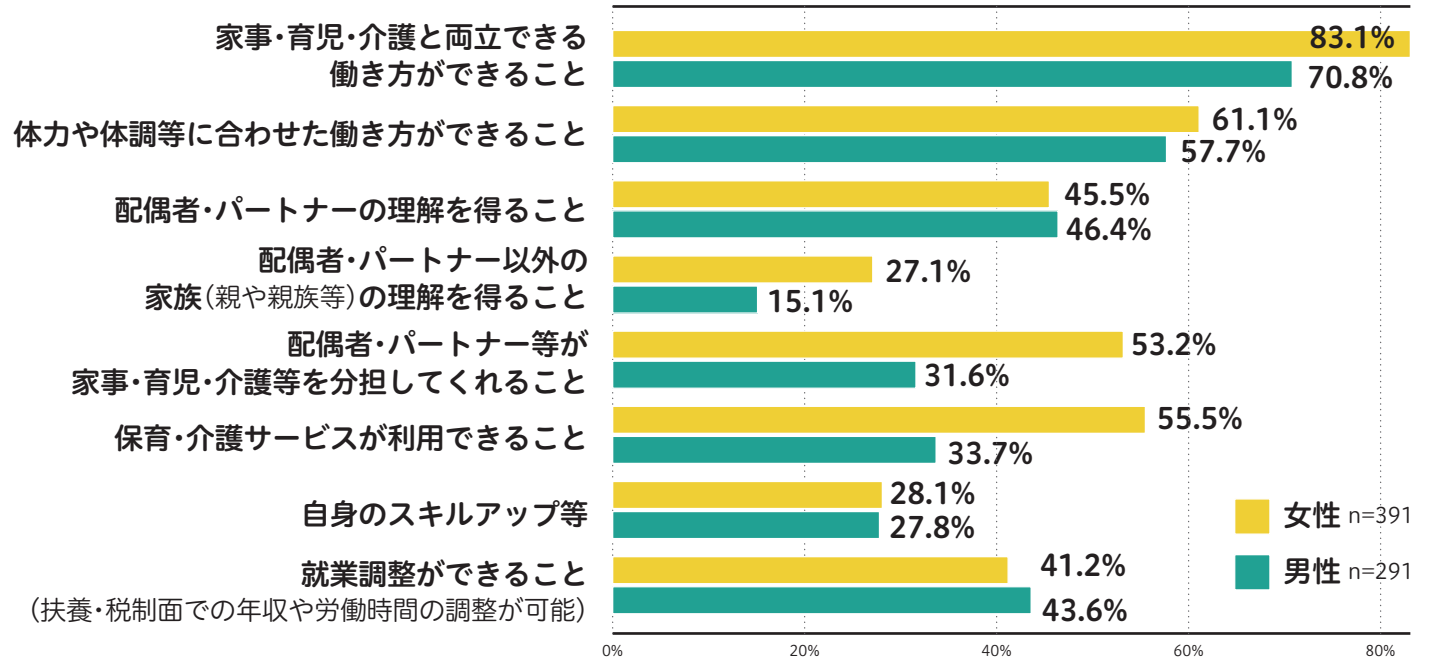
正社員退職理由

「結婚・出産・育児のため」が、女性で過半数を超えている。



正社員就労実現に必要なこと

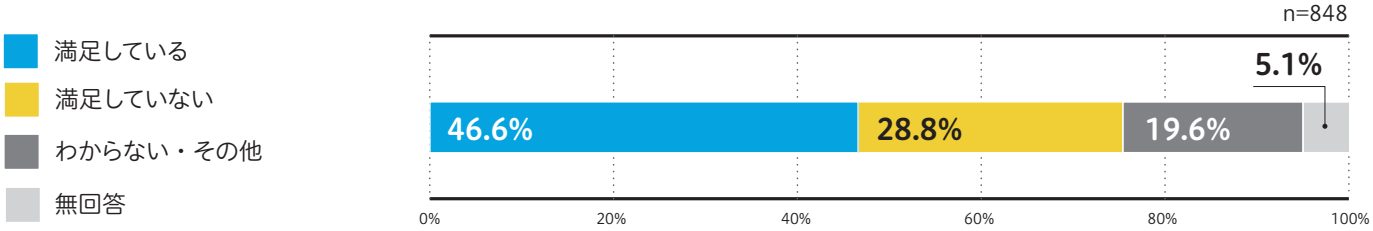
男女ともに「家事・育児・介護と両立できる働き方ができること」が最も高い。また、「配偶者・パートナー等が家事・育児・介護等を分担してくれること」「保育・介護サービスが利用できること」では、女性のほうが高い。



ワーク・ライフ・バランスについて

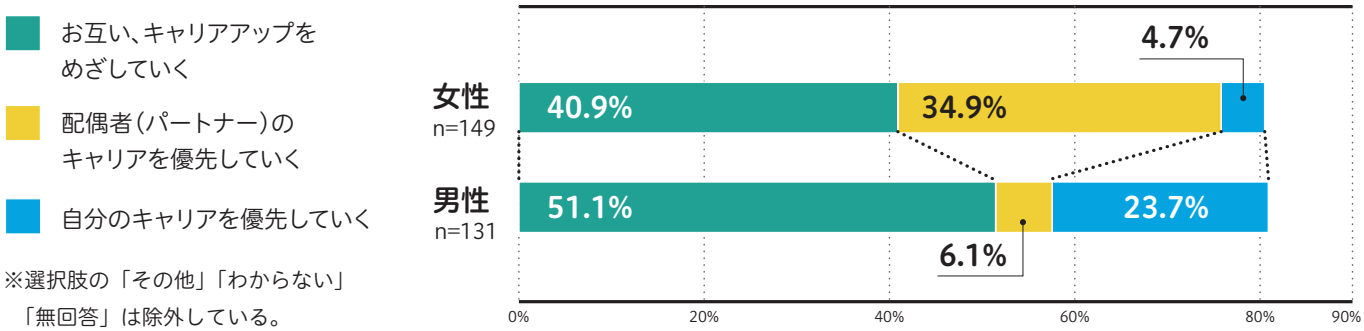
ワーク・ライフ・バランス満足度

「満足している」が約半数となっている。



夫婦のキャリアに対する考え方

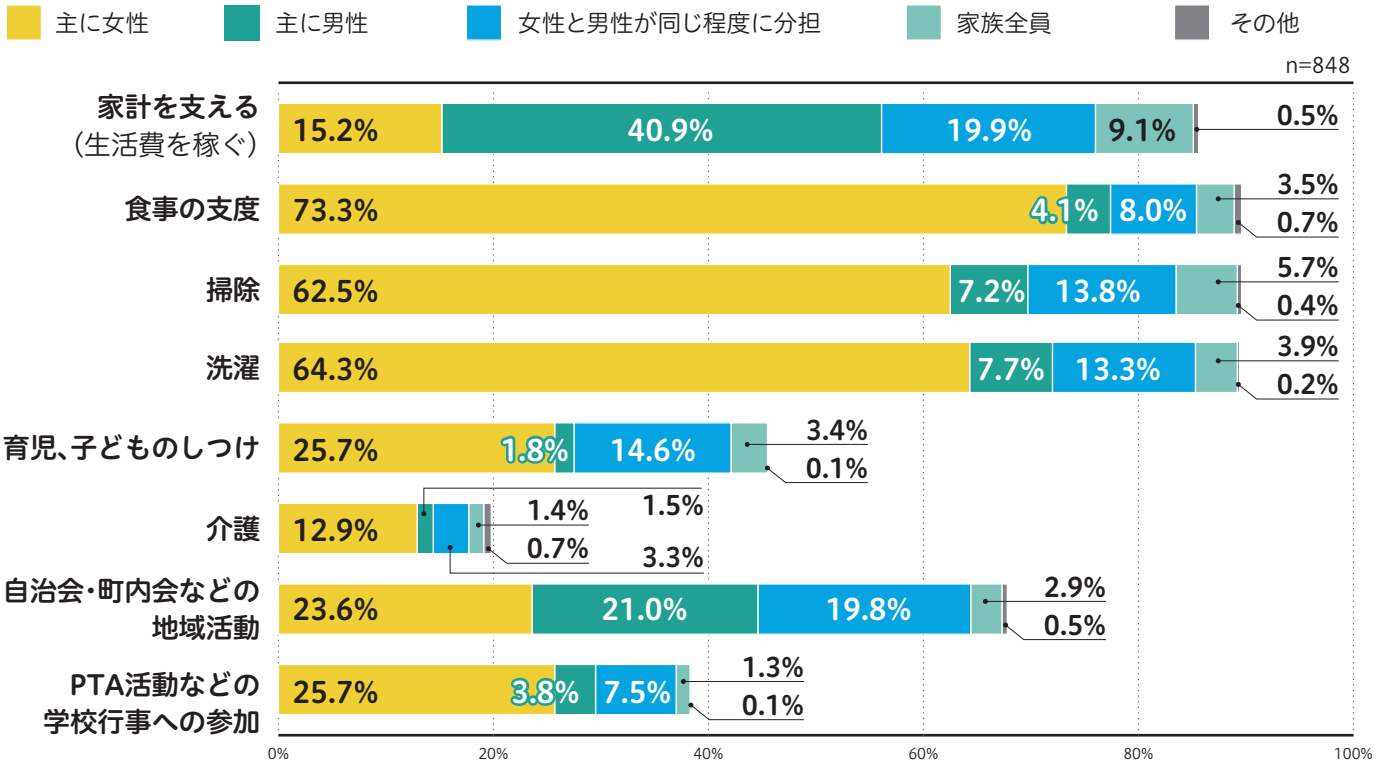
「配偶者のキャリアを優先していく」「自分のキャリアを優先していく」で大きな男女差がみられる。



※選択肢の「その他」「わからない」「無回答」は除外している。

家庭内の役割分担

「家計を支える（生活費を稼ぐ）」では「主に男性」が高く、「食事の支度」「掃除」「洗濯」では「主に女性」が高い。

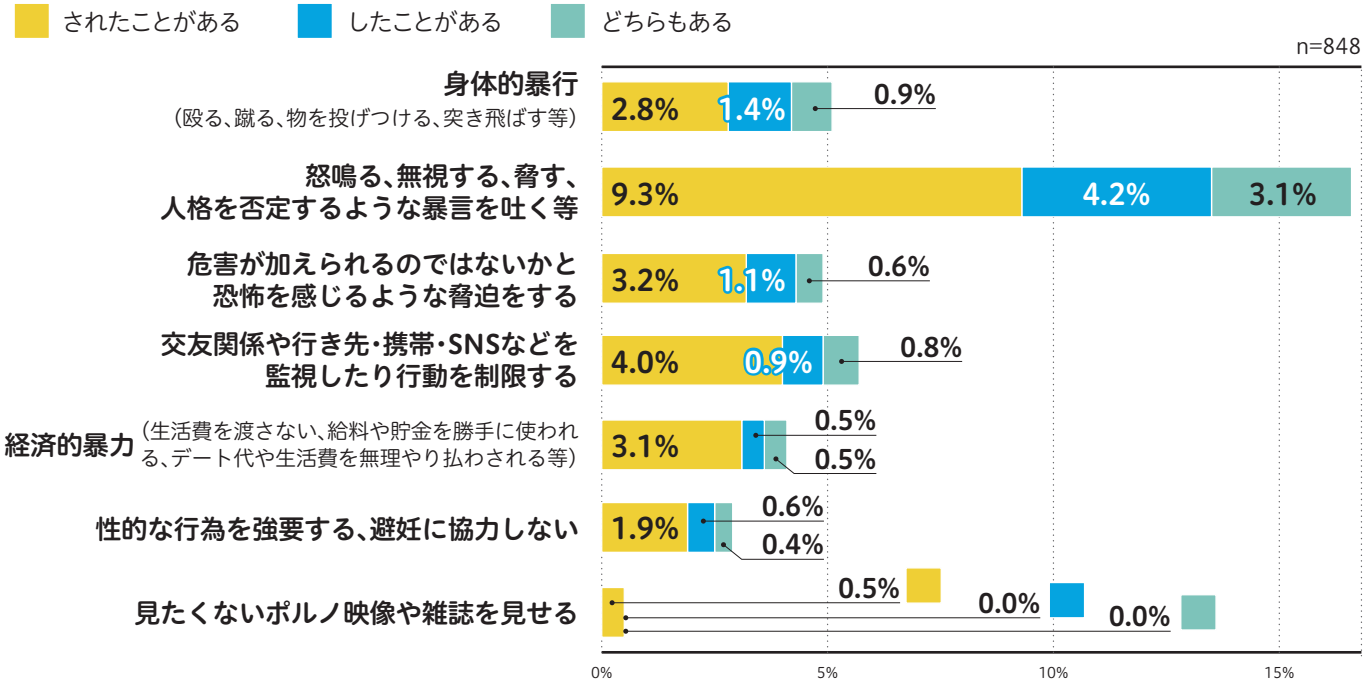


※選択肢の「わからない」「対象者がいない・該当がない」「無回答」は除外している。

人権・性的マイノリティについて

この５年以内の DV※被害・加害状況

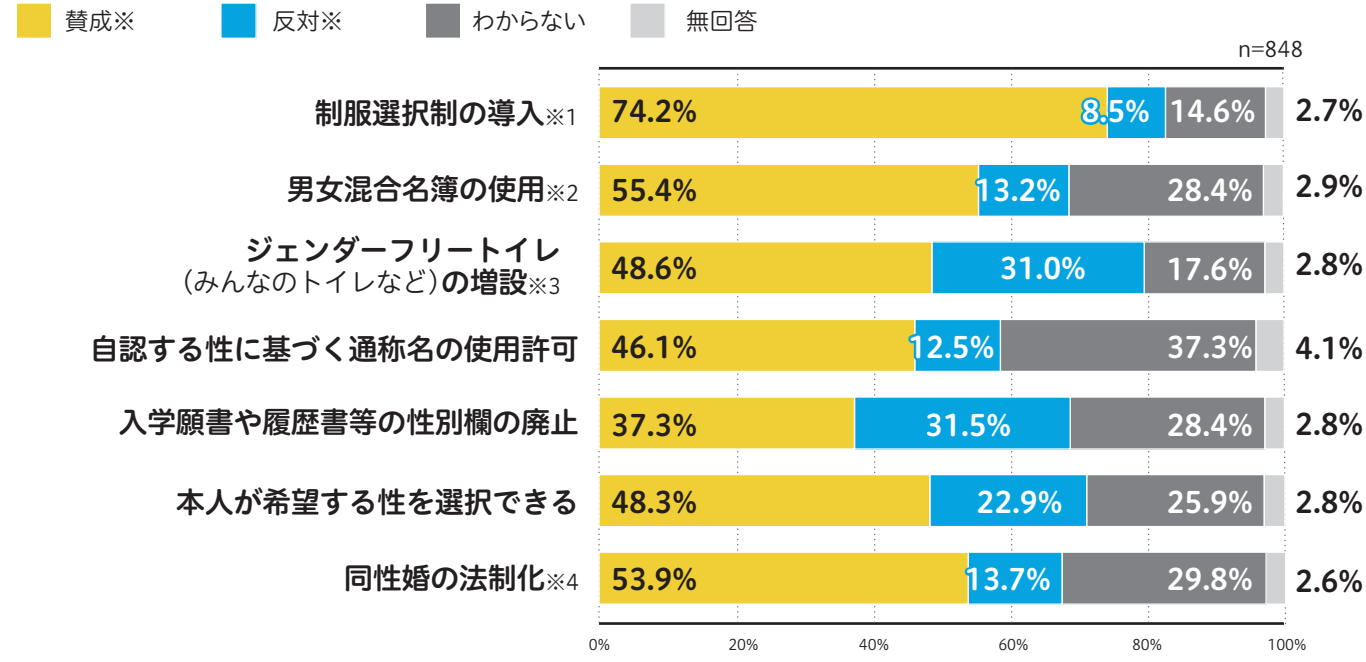
ほとんどの項目で「されたことがある」「したことがある」との回答があり、DVの存在が確認できる。



※ドメスティック・バイオレンスの略。　※選択肢の「対象者がいない」「無回答」は除外している。

性的マイノリティ※に対する取り組みへの考え方

『賛成』の割合が4割を超えている項目が多く、特に「制服選択制の導入」が高い。



※性的マイノリティとは性のあり方が多数派に属さない人たちの総称。
※『賛成』は「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計、『反対』は「反対」「どちらかといえば反対」の合計。

※１　学校の制服として、スカートかズボンか、ブレザーか学生服かなどを、性別にかかわらず、生徒各自が選べるようにすること。

※２　特に学校において、性別に関係なく、生年月日や五十音順などにより並べた名簿。

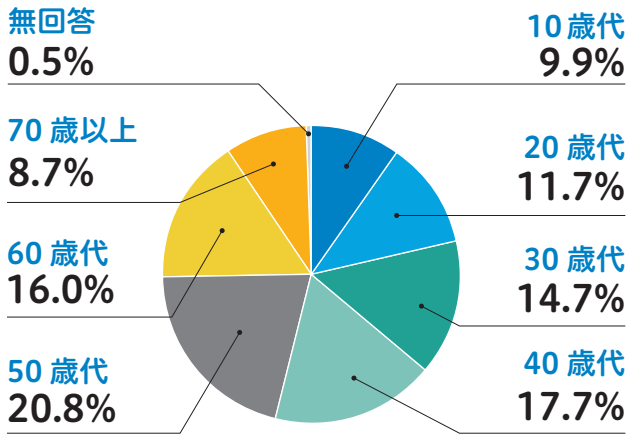
※3　女性用トイレ、男性用トイレとは別に性別に関係なく使えるトイレ。

※4　女性と女性、男性と男性のカップルが法律上の結婚ができるよう立法すること。なお、同性婚は日本では法的に認められていないが、ヨーロッパ諸国やアメリカ合衆国等では法的に認められているところもある。

回答者の属性

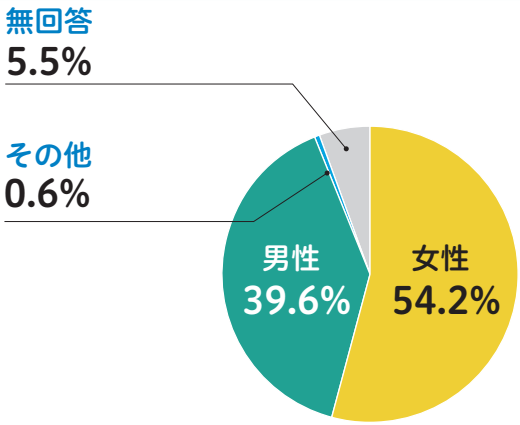
年代

n=848



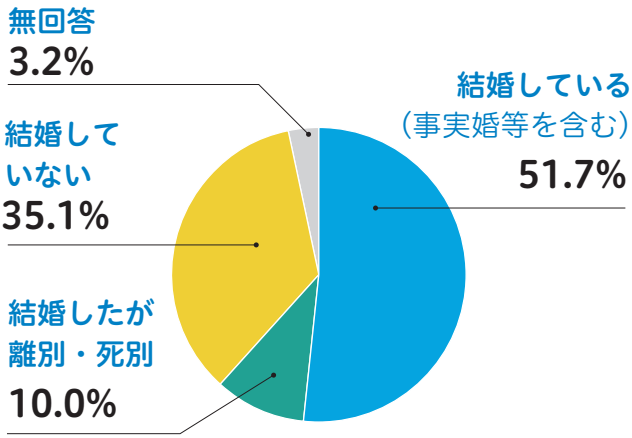
性別

n=848



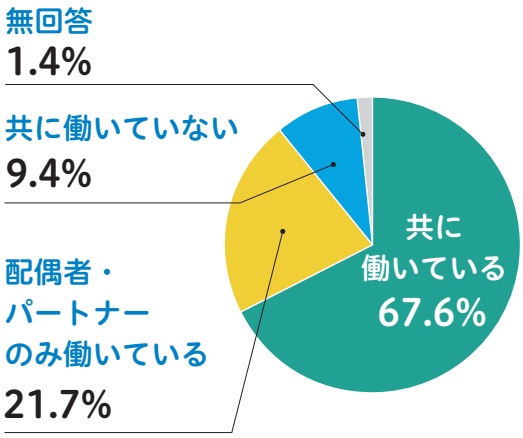
婚姻状況

n=848



共働き状況

n=438



調査結果の詳細は、
佐賀市ホームページ
「佐賀市　男女共同参画
市民意識調査」より
ご覧いただけます。

https://www.city.saga.lg.jp/main/34730.html

●調査結果利用上の留意事項

■文章や表、グラフの回答割合(%)は
小数点第2位以下を四捨五入しているため、
合計が必ずしも100%にならないことがあります。

■2つ以上の回答を求めた複数回答の場合、
各選択肢の合計は原則として100%を超えます。

令和6年度　男女共同参画に関する市民意識調査　概要版

●発行　佐賀市 政策推進部 男女共同参画課
TEL　0952-40-7014　　メール　danjo@city.saga.lg.jp